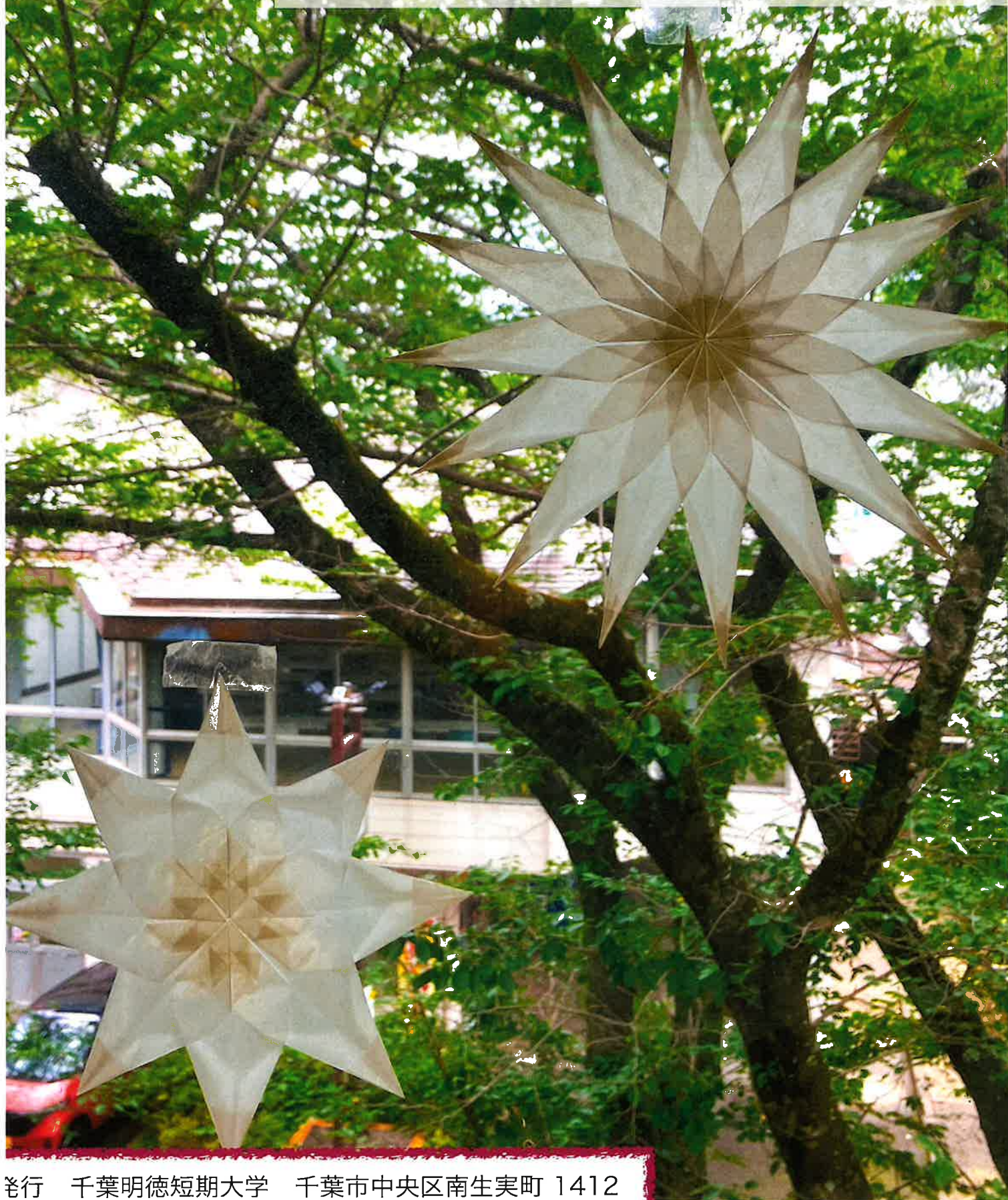


# 月歩字歩

”月日を歩き、学んで歩く”

千葉明德短期大学 MAGAZINE 『げっぼがっぼ』 2024年6・7月





関東は梅雨が明け、暑い毎日が続いています。毎年思うことで今年も本当に暑いですね。未だ7月というのに千葉県にも「熱中症警戒アラート」が発令されるなど、危険な熱さを感じる日々です。この先、どうなってしまうのでしょうか・・・？私が子供の頃（1980年～1990年代）は、エアコンがなくても過ごすことができたのです。夏休みはプールに行って、身体がひんやりするくらい水に浸かって遊び、冷えた身体を外気の暑さで温め直す感覚は心地よいものでした。しかし今は、この暑さのためにプールも中止になっているようです。保育においても、「暑さ指数」によって外あそびに制限がある昨今、子どもが自然を感じる機会が減ってしまうことは残念でなりません。

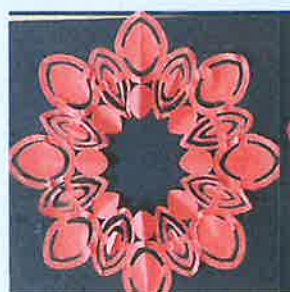
さて、2年生は、6月の3週間に及ぶ教育実習を終え学校に戻ってきました。久しぶりに友達と会うことが本当に嬉しそうでした。実習巡回に行った際に、学生から「早く学校に行きたい」という声を聞き、教員としては、学校が心の拠り所になっていると思うと嬉しい気持ちになりました。

そして、1年生は初めて科目の試験が始まりました。単位取得に向けて友達と話し合いながら試験の準備を進める姿は初々しく、こういう緊張感が2年に渡って続くことを願います。

加えて、それぞれの試験勉強の最中、8月4日（日）の学園祭準備が始まっています。学園祭実行委員会が中心となり、飲食店のほか、本校ならではの子どもの遊び場スペースを企画する団体もあります。今年も近隣のたくさんのご家庭に来場して頂き、地域に根ざす養成校としての役割を担えたらと思います。

## 目次

- 03 最近の明德風景
- 04 学友会会長インタビュー
- 05 障害者スポーツ大会
- 06 献花式
- 07 めいトーク
- 08 明德はうたう・夏
- 10 教育実習Ⅱ
- 学生企画—
- 12 続・隣の研究室  
～突撃インタビュー！～
- 15 新・月歩学歩委員紹介





星に願いを



## 学園祭準備中



### 催し物

フライングボート やさぎぼ チョコバナナ  
チュロス ボウリング ステージ発表など

おむつ替えスペースあります！  
別館2階 たいむ

駐車場がありません  
公共交通機関でお越し下さい。

☎260-8085  
〒260-0142 千葉県千葉市中央区青生町1412



チラシのデザインは  
私が作りました！！

チラシを小学校に持っ  
ていく準備中。





ー今年度の学友会活動ー  
佐藤先生が学友会会長にインタビュー



○佐藤：山本風音さんは、二年連続で学友会会長に立候補しましたね。

○山本：そうですね。今の二年生は、高校の三年間、新型コロナの影響で生徒会活動などが制限されて何も出来ずに卒業になってしまったんですね。大学入学後、コロナの制限が緩和されたことで保育を学びながら「青春」を感じることが出来ればと思って、今回二度目の立候補をしました。

○佐藤：2世代の山本君から「青春」の二文字を聞くとは思わなかったですね。

○山本：昭和ですかね。立候補の理由は、二年生は卒業と同時に就職となるため在学中に「楽しい思い出を作りたいなあ！」と、一年生には「明德に来て良かった！」と思えるような、そんなことを考えています。

○佐藤：昨年一年間の学友会活動の反省点がありますか。

○山本：二年生のサポートを受けながら学友会活動に取り組んではみたものの、やっぱり、頭で考えていることと、実際の学生生活とは異なるところがあって戸惑ってしまったことですかね。

○佐藤：具体的に、どんなところ。

○山本：一年間の流れは学事日程を見れば分かるんですけど、学生生活は、もう少し余裕あるのかなあと考えていたら大間違いで、授業、実習の流れを知るのに一杯一杯になってしまいましたね。それから、新しくなった学友会室で、毎月、学生生活委員の佐藤先生と学生生活の課題について打ち合わせをするんですけど、役員の集まりが悪くて連絡事が二度手間になることも多く、これは大きな反省点です。

○佐藤：今年度、学友会で取り組んでみたいことはありますか。

○山本：一年生と二年生の交流を増やしたいですね。特に多くの学生から要望のあるスポーツ大会は実現したいです。また、学園祭などは、幼稚園はもちろん、同じ明德の中高生にも遊びに来て欲しいですね。

○佐藤：学友会活動を成功させるため、学友会役員の一年生、二年生にメッセージはありますか。

○山本：そうですね。一番、困っていることは、総会の集まりが悪かったり、各イベントの実行委員の応募が少なかったり、誰かが自分の代わりにやってくれる、そんな雰囲気があります。学友会は学生全員が会員です。学生生活を充実させるためには一人一人の学生の理解と協力が必要です。学生の皆さんの積極的な参加を期待するところです。

○佐藤：山本君、貴重なお時間ありがとうございました。学友会活動応援しています。

○山本：先生、ありがとうございました。

千葉県障害者  
スポーツ大会の  
ボランティア参加について  
中嶋 一郎

**5.26 sun**  
**9:00-16:00**  
**千葉市総合**  
**スポーツセンター**

2024年5月26日(日)、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で毎年開催されている千葉県障害者スポーツ大会に、本学の1年生84名と2年生2名、計86名がボランティアとして参加しました。

本学では「体験から学ぶ」という学習方法を重視しており、この大会も授業の一環として位置付けられています。学生たちは、さまざまな特徴をもつ人たちとの関わりを通じて、自己理解、他者理解、障がいの理解を深めることを目的に、毎年1年生がボランティアとして参加しています。

大会では、50m走、100m走、200m走、400m走などのトラック競技、立幅跳び、走幅跳びなどの跳躍競技、砲丸投げ、ジャベリックスローなどの投てき競技が行われました。学生たちは、競技への誘導、種目ごとの記録の掲示、受付業務などの役割に分かれてボランティア活動を行いました。

当日は5月とは思えないような暑さ（最高気温25.2℃）で、夏のような日差しが降り注ぐ中、競技者たちは日ごろの努力を結果に結びつけようと一生懸命にスポーツに取り組んでいました。学生たちも、ボランティアを通じて選手たちと関わる中で、多くの変化が見られました。

初めての経験に不安を抱いていた学生も少なくありませんでしたが、真剣に競技に打ち込む選手の姿や、競技中に必要なサポートをする人々、そして競技者を応援する人々の姿に感動し、実際にサポートを行う中で不安は次第に消えていきました。

また、学生たちは後日の振り返りの際に、国際生活機能分類に基づく障がいの理解が深まったことを示しました。今回のボランティア活動を通じて、学生たちは「障がい」に対する概念を見直し、理解を深めることができました。

来年度もこの大会を通じて、さまざまな人と関わり、学生たちが自己および他者の理解を深める機会となることを期待しています。



千葉明德学園は  
2025年に  
100周年を迎えます！

**6.28 wed**  
**10:00-11:00**  
**千葉明德高校**  
**体育館**

## 献花式 明石 現

福中儀之助先生 献花式



本学園では、千葉明德学園創立者である福中儀之助先生の命日・昭和23年7月29日の一カ月前となる6月29日を学園記念日と定め、その前日、6月28日に学園関係者が一堂に会し

創立者への感謝を示すとともに、今後の学園の未来を大きく発展させていくことを誓い合う場として、毎年、献花式を実施しています。

当日は、梅雨の最中ということもあり、大雨の日となりましたが、学園の園児、生徒、学生の皆さんが集まる貴重な時間となりました。

はじめに、福中儀明理事長より学園創立までの様々なエピソードについてお話があり、改めて、この豊かな環境で学べる喜びを感じた方も多かったことと思います。献花の後には、附属幼稚園、浜野駅保育園、土気こども園の園歌が歌われました。子どもたちの歌声に、自然と周囲が笑顔になっていたことが印象的でした。続く中学校・高等学校、短期大学の校歌もしっとりと美しく会場に響いていました。そして最後の高等学校チアリーディング部の演技献上也素晴らしく、目の前で繰り広げられるダイナミックな演技に歓声が沸き、学園全体の一体感を感じながら、献花式が終了しました。

千葉明德学園は大正14年（1925年）創立の千葉淑徳高等女学校から始まり、現在は千葉明德短期大学（保育創造学科）、千葉明德中学校、高等学校、短期大学附属幼稚園、明德やちまたこども園、明德本八幡駅保育園、明德浜野駅保育園から構成されています。また姉妹法人として社会福祉法人千葉明德会を作り、明德土気こども園、明德そでの保育園を運営しています。（HPより）

**7.6 sun**  
**10:00-16:00**  
**本学講堂**



## めいトーク2024

～見直そう！

保育現場の『なぞルール』

『あたりまえ』～

こども臨床研究所所長

古賀琢也

地域の保育者を対象とした公開講座「めいトーク」を今年度も開催しました。数年前まで明德短期大学の教員だった石井章仁先生（大妻女子大学）が講師とあって、たくさんの卒業生も学びに（顔を見せに?!）来てくれました。

今回は表題のように、保育現場のあたりまえを問い直すというテーマで開催し、とても活気あふれる講座となりました。保育の現場で気になっているけど言い出しにくいこと、どの園でもありますよね。直接の指摘では、ともすると互いに気まずい雰囲気になるかもしれない話題も、「それって、なぞルールですよ」と切り出すと、あら不思議。なぜそうしてきたのか、互いに問い直しが始まります。

「給食を残さず食べたらほめる」「けんかは『ごめんね』『いいよ』で解決」などなど、石井先生の著書に掲載された、一度は保育現場で聞いたことがありそうな例についても具体的に考えました。なんでだろうという漠然とした疑問に対して、そのルールが成立した背景、どこに問題があるのか、どのように解決の方策を考えていけるか、と段階的に分析が述べられることで、思わず頷く参加者。ルールを見直すことで発展する遊びや子どもの姿を、実際の保育現場の映像とともに学びました。

後半のグループディスカッションでは、参加者同士で、各園の「なぞルール」を出し合いました。「ブランコで代わるときは数えてから」「廊下で遊んではいけない」「『季節』という言葉のもとに活動や歌が制限される」など非常にたくさんの「なぞルール」が書き出されました。「昔から、そうしてきたから」、「当たり前でしょ」ではなく「なんでだろう」と考え、語り合い、自分たちは何を大事にしていきたいのか言語化していくことが求められます。複数人で参加してくださる園もあり、この研修の切り口を園内研修で展開したいという声も寄せられました。また、卒業生からは、学生の時にはわからなかったことも今では面白いという声が聞かれ、短大卒業後も続いていく成長を教員も実感しました。

「めいトーク」の後は、卒業生の懇談会も行いました。近況報告や、互いの活躍の様子が聞けることが嬉しい時間でした。なかには、「生まれた我が子を、ぜひ石井先生に抱っこしてほしい！」と連れて来てくれる卒業生も。アットホームな明德の魅力を改めて感じました。

# 7.19 fri

## 15:30-17:00

### 本学講堂

明德はうたう・夏  
大澤ちづる

本学では、年に2回、字内コンサートを開催しています。  
7月19日(金)の「明德はうたう・夏」では、本学の音楽教員、  
明石ゼミと大澤ゼミの2年生、附属幼稚園の先生方によりプロ  
グラムを構成しました。

ピアノ連弾、声楽、ギター、バスクラリネット、手話合唱、  
合唱、ハンドベルなど様々な演目に学生たちもよく耳を傾けて  
聴いていました。

学生たちの感想から一部を紹介します。

こういうコンサートを見たことがなかったので歌やギター、  
ピアノ、バスクラリネットを近くで聞けてすごい楽しかった  
です。特に印象に残ったのは「たなばたさまの変奏曲」  
とピアノ六手連弾です。たなばたさまの曲は一つの物語を  
聞いている感じで七夕の話をしている感覚になりました。  
静かになるところと盛り上がるころの強弱の差がすごい  
わかりやすく、強弱ってすごい大切なんだなと思いました。  
改めて私も強弱を気にして弾けるようにしたいと思いま  
した。

「明德はうたう」で、初めてオペラを聴きましたが、生で聴く  
オペラはとても迫力があり、感動しました。オペラを生で聴く  
ことはなかなかない経験なので、とても貴重な体験ができたな  
と思いました。

明石先生が弾いていたギターは、とても聴きやすく、ロマン  
チックな音楽で、ギターがカッコいいなと思いました。

森の小さなレストランでは歌だけでなく、踊りもあって、見てい  
てとても楽しかったです。

クラリネットでは、ジャズにアレンジしたアメイジングを聴け  
ましたが、ジャズが好きな私はとても興奮しました。聴けたこ  
とがとても嬉しかったです。



初めての「明德はうたう」だったので最初はどんな感じが全く分からなかったけど、最初から最後まで全部が素敵で驚きました。ピアノやギターだけでなく、バスクラやハンドベル、オペラなどなかなか見る機会のないものまで見る事が出来てしかもどれもカッコよくて凄かったです。ピアノもどれもレベルが高くて全部聞き入ってしまうくらいだったのですが、特にエリーゼのためには迫力が凄くて何回でも聞けるくらいでした。最後のオペラも鳥肌が立つくらい上手であつたという間でした。本当に全てが印象に残っていて終わってから余韻が凄かったし、全てがもう1回聞けるくらいで自分が思っていた以上に全てがカッコよかったです！



元々音楽が好きなのもありとても楽しい時間でした。一時間半でピアノ、ギター、歌、木管楽器、ハンドベルと音楽の良さを楽しめました。私はピアノの経験があるので、普段教えてくださる先生方の演奏でどのように表現されているか楽しみでした。どの演奏も音楽が持っている人の心を動かすことのできる力で惹きつけられ感動しました。明石ゼミでの発表で、明石先生が作曲された曲でこんなに素敵な歌で素敵な歌詞で、また井崎さんの手話とともに優しさが溢れていてまた機会があったら聴きたいなと思いました。

いつも優しく指導してくださる先生方の本気がとても伝わってきて鳥肌が何度もたちました。ほんとうに迫力があってドキドキ感が止まらず楽しい時間になり、とても素敵な機会だなと感じました。始まる前は「明德はうたう」ってどんな感じなのだろうと思っていましたが、先生方や先輩方がとても楽しそうにしているのを見てとても素敵だなと感じました。特に松井先生、阿部先生、福中先生の『エリーゼのために』は迫力があすぎて瞬きせず見るくらい見入ってしまい、アンコールでもう一度聞くことができとても嬉しかったです。また冬に開催されると知りとても楽しみだなと思っています。



## 教育実習Ⅱ 郷家史芸



6月10日から28日に3週間にわたる教育実習Ⅱが行われました。1年次通年の月一回の実習、後期の保育所、施設それぞれ2週間の実習を経て、今回で3度目の実習となります。そして責任実習を伴う実習は今回が初めてです。4月1日から始まった実習指導では責任実習の作成に重きを置き、改めて子ども

の姿をとらえる視点、子どもの姿や発達段階を踏まえたねらい・内容の設定、環境構成、場面ごとの予想される子どもの姿・実習生の援助と配慮を学びなおしました。また、今回から学生のニーズに合わせて指導案をパソコンで作成することに挑戦しました。なれない指導案の作成とパソコンの操作に四苦八苦しながらも一生懸命部分・責任実習の指導案を作成し、実習指導についてきました。

そして始まった3週間。1年次でトータル1か月以上の実習、そして指導案の作成等、学びを積み重ねてきたとはいえ、新しい環境に、しかも3週間という長い期間実習に入ることは大きなプレッシャー・不安感を感じていたことでしょう。訪問指導では全力で子どもと関わる姿、楽しそうに子どもと遊ぶ姿、実習で得た学びを嬉しそうに語る姿など、必死に実習に取り組み、学ぶ姿を見せてくれました。なかには自分の思った通りにいかなくやささから涙を流す学生の姿もありました。学生の本気さ、子どもの思いを捉え、こたえようとする思いがひしひしと伝わってきました。

7月1日の事後指導では久しぶりに会う仲間との出会いに喜び、検討をたたえあいながらも実習での学びを深めるために真剣に振り返りに取り組んでいました。事後指導では振り返りの個人アンケートとグループでの振り返りを行いました。アンケートから得られた学生の学びをいくつか紹介します（一部修正）。

「責任実習の際に、自分たちで作った魚をみんなで釣ってみる時に、「釣れたよ!」という声が聞こえてきて、その釣れた魚を町ごっこのところで友だちと一緒に焼いて食べるという姿が見られました。この姿を見て「何してるの?」と声をかけると、「今魚を焼いてるの」と答えてくれました。そのやり取りが聞こえた子やその行動に興味を持った子は、隣に来て真似をしたりなどという、姿が見られました。また、友だちの釣り竿の磁石の部分が偶然くっつき、それに興味を持って「面白いね」などと、遊びを通してそれぞれの気づきや、日常生活の中で経験したことなどを、友だち同士で共有し、それが遊びに発展していくのだと感じました。」



責任実習の主活動での魚づくりから魚釣り遊びのエピソードですね。子どもたちは活動を楽しみながらも、その活動を普段行っている遊びに取り入れようとする姿が見られたようです。つまり実習生が考えた活動が子どもたちの遊びをより面白い遊びに発展するうえでの重要なプロセスとなったのです。素敵な遊びを見つけた子どもたちも、気づいた学生も素晴らしいですね。

「私は、担任保育者の方から「見守る」という言葉の意味を学びました。私は、見守ると聞いた時にただ子どもたちの様子を見るだけの事だと考えてしまっていました。しかし、本当の「見守る」ことはその物事のやり方を教え、様子を見つつ難しそうだと感じた時は援助を行うなど子どもたちの「できる範囲」をしっかりと考えて行うことであるということを経験した保育の様子や制作の様子を観察して学びました。」

保育を学ぶ中でよく子どもを「見守る」という言葉が出てきます。しかしこの「見守る」という言葉が具体的にどういうことなのかということを考える機会は多くないかもしれません。また、保育者それぞれが持つ保育観によってもこの「見守る」ことの定義は異なってくるかもしれません。保育者の「見守る」という援助を捉えなおす重要な学びの瞬間だったと思います。

「責任実習の主活動では、「オオカミさん今何時」のアレンジした遊びをしました。子どもを遊びの世界観にどれだけ引き込めるかが重要だと保育者に教えていただきました。オオカミさん今何時の設定を踏まえた話し方や、自分がオオカミになりきって遊ぶことを意識しました。自分自身が楽しまなくては、子どもたちが楽しむことはできないなと思いました。子どもの姿に臨機応変に対応することは簡単ではありませんが、もっと経験を積んで子どもとの関わりを心から楽しめる保育者になりたいです。」

子どもたちだけでなく、自分もいかに楽しめるか。これは遊びを楽しみやすい雰囲気を作る中で重要な援助のひとつですね。責任実習のプレッシャーの中ではそれどころではないことかもしれません。その中でいかに保育者としての自分の役割を捉え、目の前の子どもたちのためにどんな振る舞い方をすればよいのか、よい気づきだったと思います。

学生の皆様、今年の教育実習Ⅱは例年以上の暑さや風邪の流行り等もあり、困難な環境のなかでの実習だったかもしれません。その中で3週間休まず教育実習に取り組み、学びを得たことは皆様の大きな財産となります。次の保育実習Ⅱ・Ⅲも胸を張って望んでほしいです。今後のご活躍を願っております。

そして最後になりましたが、本学の学生が充実した学びをできたのは幼稚園・認定こども園の皆様のおかげです。皆様のご助力なしではこのような経験はできなかったでしょう。今年度の本学の教育実習Ⅱを快諾し手厚い指導を行ってくださった幼稚園・認定こども園の皆様にこの場を借りて心から感謝申し上げます。

## 学生企画

# 「学長の由田新先生に突撃インタビュー！」



お名前→由田新さん  
担当授業→教育原論  
好きな食べ物→枝豆、ビール  
明德に16年間在籍していて、  
池谷先生の次に長く明德に  
いる先生！！  
マイナーなジャズやロック、ク  
ラシックが好き！



～明德生のみんなへ～  
色んな事をして  
色んなところへ行って  
色んな経験をしてしてくださ  
い！！！！  
その経験が、いい保育者とし  
て役に立つと考えていま  
す！！

## 由田学長って どんなことに興味があるの？



### ブリッジ

由田先生が大学時代のサークルでやり  
始め、趣味として休日に楽しんでいる  
『ブリッジ』というトランプゲームがあ  
るそうです。ワールドカップなども開催  
されており、世界ブリッジ連盟によって  
開催が行われています。

今は若者のプレイヤー人口が少  
ないそうで、明德の学生の方々  
にも是非ブリッジを楽しんで  
ほしいそうです。



### 研究分野

遊びの環境についての研究をされて  
いるらしく、ゼミではプレパークに行  
き、そこで遊びの研究をしているそう  
です。

最近では、保育室の音環境について  
興味をもっており、建築学を専門とす  
る大学時代のご友人と、保育室の音環  
境と保育実践について研究されている  
そうです。

## 学生企画

# 「図書館司書大西さんに突撃インタビュー!」

### ～みんなへメッセージ～

当館のオススメポイントは、なんといっても絵本の多さです!! ロングセラーから、新刊まで幅広く揃えるようにしています。授業の合間など、上手に使ってぜひ利用してみてください。

実習に持参する絵本の選書のお手伝いも受付中です。お気軽にお声かけください。



名前 → 大西育子 さん

誕生日 → 7月8日

趣味 → 久しぶりに始めたゴルフ♪

明德の好きな所↓

図書館に来て、色々と話してくれる学生が沢山いる所

大西さんの!! /

## おすすめ絵本



### 「やきざかなののろい」

(塚本やすし・作 ポプラ社)

食育につながる絵本で、焼き魚が苦手な子どものお話です。男の子は、おすしは好きなのに、骨がある焼き魚はなかなか食べてくれません。焼き魚が、大きな目をギョロリッとさせて、「そんなに食べてくれないなら、食べてやるー!」と男の子を追いかけます。逃げても逃げても・・・最後まで逃げ切れるかは、本を読むでの楽しみ



### 「トマトさん」

(田中 清代・さく/福音館書店)

表紙一面に描いたトマトは迫力があります。子ども達も一瞬で釘付けになる絵本。ある日、トマトの樹から、"どつたとトマトさんが落ちるところから、お話が始まります。とても暑い日だったので、みんなが川で遊んでいます。トマトさんは重くて動けません。やさしい虫たちが力を合わせて、トマトさんを川まで運びます!



### 「だめだめ すいか」

(作・絵 白土 あつこ/ひさかたチャイルド)

おおきな「すいか」をおじいちゃんの家にもっていくおつかいを頼まれた、たっくん。途中の道で、たぬきに出会います。おやおや、どうやらたぬきがおもしろいすいかを狙っていますよ。たっくんは無事おじいちゃんにすいかをとどけることができるかな?

### ☆開館時間

9:00~17:00 ※5限の日は18:30

### ☆利用者

本学学生、卒業生、本学の系列園の職員、本学の子育て支援利用者

※その他利用したい方はご相談ください。

### ☆利用できる冊数や期間

例) ・学生の場合

図書: 2冊まで(14日間)

絵本: 3冊まで(7日間)

・実習(学生)の場合

図書: 3冊

絵本: 5冊

・卒業生

図書: 2冊(1ヶ月)

絵本: 3冊(1ヶ月)

※長期貸出期間あり<sub>13</sub>

インスタもありますので  
フォローよろしくお願いします!



@MEITOKU\_LIBRARY



## 学生企画

# 「清掃員の人に突撃インタビュー！」



今回私たちは、明徳の学内を毎日清掃してくださっている清掃員の方にインタビューをさせていただきました。

現在、明徳には4人の清掃員の方々がいらっしゃり、お忙しい中質問に答えてくださいました。普段私たちは10分の休み時間に教室を移動しているからか、清掃員の方とゆっくりお話する機会が今まで中々ありませんでした。

しかし、今回のインタビューで色々なお話を伺うことができました！



### Q.いつも行っていることはなんですか？

本館から二号館にかけて、トイレのチェック・机の掃除・拭き掃除・黒板の掃除・床の掃除・机の整理・ベランダの掃除や職員室のシュレッダーのゴミの回収などを毎日やっています。曜日ごとに階段とトイレの掃除をしています。トイレは週に2回清掃を行っています。

時間は7時から9時までの間で行っています。学生さんが来るので教室は9時半までに終わらせるようにしています。現在、4人で清掃を行っているのですが休みの人がいた場合、休みの人の分も穴埋めもできるようにするようにしています。（10時から10時半までの間に休憩を取っています。）



### Q.やりがいを感じる時はどんな時ですか？

学内を綺麗にできたり、「綺麗になっている」と言ってもらえたりした時にやりがいを感じます。また、私たちが掃除をしたことによって「気持ち良いな」と学生の皆さんに思ってもらえれば嬉しいです。

### Q.短大や学生に対してどのような印象がありますか？

私たちが掃除をしていると、「おはようございます！」と挨拶をしてくれたり、中には「ご苦労様です。」などと声をかけてくださる時もあります。皆さん挨拶をしっかりしてくださり、とても印象が良いと感じています。

Q .掃除を行う際に気を付けていることはありますか？

各教室を掃除する時に忘れ物がないか、特に机を注意してよく見るように心がけています。万が一忘れ物があった場合には、短大入口の受付の近くにある忘れ物BOXに届けています。

Q .学生に何か気を付けてほしいことはありますか？

トイレを使用して個室から出るときは、しっかりと流してあるかどうか確認してから出るようにしてほしいと思います。毎朝、トイレの全ての個室を見回りながら確認するのですが、最近は少し流れていないことが増えています。明德にいる全員が気持ち良く使用できるようにお互いに思いやって使うことができればいいなと思います。

また、女子生徒の皆さんにお願いがあります。生理用品を捨てる際には、しっかりと留めるなど必ず処理してから捨ててください。これも最近、処理できていない人が多いです。気を付けてほしいと思います。



Q .学生へのメッセージがあればお願いいたします！

みんな挨拶してくれて嬉しいです♪  
ありがとう！

## 新・月歩学歩委員

### 1 年生

初めまして月歩学歩委員  
1年佐々木陽花です。パソコンはあまり得意ではありませんが先輩方のような見た人を喜ばせるようなものが作れるように頑張ります。1年間よろしくお願いします。

佐々木陽花



佐々木陽花さん 鶴岡夏美さん

新しく月歩学歩委員になりました、1年の鶴岡夏美です。月歩学歩を初めて見た時にすごく面白いと思い、私も先輩方や先生方と一緒に「やってみたい！」と思いました。学校の事をもっと知り、見た人に面白いと思って貰えるような月歩学歩を作れるように頑張りたいです。これから1年間よろしくお願いします。

鶴岡夏美

小中学生たいむ開催！！  
7月22日（月）・29日（月）  
13：30—15：30



本日の流れ

- 1、自己紹介
- 2、学生の考えた遊び
  - ・しっぽ取り
  - ・ドッチビー
  - ・宝さがし
- 3、感想を話そう！

池谷ゼミ・中嶋ゼミで  
合同で小中学生をお迎え  
しました！  
学生たちが1階に館を隠  
し、子どもたちに宝さが  
しをしてもらいました♪  
感想を聞くと「お姉さん  
たちが考えた宝さがしが  
楽しかったです」と言っ  
てくれました★



## 編集後記

「あれ？いつ梅雨だった？」というくらい暑いですね。7月ですが、学外では蝉がミンミンなき、夏を感じております。学生と「暑いね」と話していたら「暑すぎて、ちょうど干からびそうで力が出ないミミズみたいですよ」と言われました。この力が出ない状態を絶妙な例えで返され、笑いが止まりませんでした。最近は学生と、日常のささやかな面白い瞬間を撮った画像を見せ合い、ちょっと笑えるエピソードを話し合うのにハマっています。暑い夏ですが、体に気をつけてみなさまお過ごしくださいね。（inoue）

## <学事日程>

8月4日(日) めいとく広場（学園祭）  
5日(月) 2年生前期授業終了  
8月19日(月) 保育実習Ⅱ・Ⅲ事前指導  
8月22日(木)～9月4日（水）  
保育実習Ⅱ・Ⅲ  
9月6日(金)～9月19日(木)  
2年生・フィールドワーク

9月17日(火) 1年生・後期授業開始  
1年生後期ガイダンス  
9月20日(金) 乳児保育体験  
9月23日(月) 1年生休日授業（月曜日課）  
9月25日(水) 保育実習Ⅱ・Ⅲ事後指導  
9月26日(木) 保育内容説明会  
9月27日(金) 2年生・後期授業開始  
2年生後期ガイダンス